

稲毛海浜公園観察会

昆虫観察会「夏の虫むし探検隊」

田島 正子(船橋市)

日 時：2019 年 6 月 9 日(日) 10 時～12 時 曇り

参 加 者：74 名 (大人 36 名 子ども 38 名)

担当指導員：松本美千代 田島正子 参加指導員：盛一昭代 平田稚江子

気温が低く、あいにくの梅雨空。参加者はいないのではと思いましたが、網と虫かごを持った親子連れが沢山参加してくれました。早朝の下見では飛ぶ虫の姿は見られず、どうなることかと心配しましたが、子どもたちの沢山の目に助けられ色々な虫を見つけることができました。

街中の公園でも、じっくり探せば虫は見つかるものです。「ツツジの葉に潜むゲンバイムシ」「松の枝に泡を作り棲家になっているアワフキムシの幼虫」「草はらで飛び跳ねるバッタやコオロギの赤ちゃん」「ソテツの大きな葉に隠れている虫たち」「タブの葉を食べるアオスジアゲハの幼虫」「テントウムシの幼虫・蛹・成虫」「手を近づけるとピョンと飛ぶアオバハゴロモの幼虫」などを、ゆっくり観察しました。地面に多いのはダンゴムシとゴキブリ。子どもたちはダンゴムシが大好きで、虫かごの中にはダンゴムシがいっぱい。ゴキブリには大人の方もギョッとしていましたが、モリチャバネゴキブリは落ち葉などを分解する大切な働きをすることを理解してもらいました。

チョウが飛ぶと、子どもたちは全速力で走り、網で捕まえに行きます。1頭のチョウに網が重なり合い、チャンバラ状態。チョウを捕まえた子どもの誇らしげな顔。最後に稲毛記念館の池へ行くと、ショウジョウトンボとアオモンイトトンボが見られました。足元に、巨大なオオスズメバチの女王蜂！「動かないでください」と言い、オオスズメバチが水を飲む様子を間近で観察しました。最後にビンゴでまとめて終わりとなりました。

稲毛海浜公園の観察会は美浜区緑地公園事務所の主催で 2013 年から実施しています(今年で 7 年目)。稲毛海浜公園は人工海浜「いなげの浜」と芝生・池・松林などがある公園です。春は海の生物、夏は昆虫、秋は植物、冬は野鳥をテーマに年 4 回観察会を行っています。春と夏の観察会は親子連れが多く、秋と冬の観察会は大人の参加者が中心となります。この場所のキーワードは「海」。人工海浜には生き物が少ないと思われるかもしれませんが、そんなことはありません。とても豊かな海であると、観察会を通じて私は知りました。参加者の皆さんが、魚、貝、カニなどどっさりと採集してくれます。

身近に海辺があるということは、何と幸せなことでしょう。虫や植物や野鳥も海沿いの公園ならではの種類が見られ、埋立地の公園にも胸がときめく発見が沢山あります。

お近くの指導員の皆さま、ぜひ一度ご参加ください。今、公園は改修されており浜では砂補給の工事が行われています。しばらく海の生物の観察はできません。これからも台風などの自然の猛威で浜は削られることになるとと思いますが、海の生物は復活するのか、見守っていきたいと思います。